

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	献血推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	保健福祉部	課等名	保健課		1	4	1	1	13	1	
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり				包含する細々目							
施策	32 医療の充実											
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		18	年度					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			177000	177000			
	現状又は19年度見込		23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	献血をする(献血センターからの協力要請に 応える)飯伊地区の献血目標の達成	飯伊地区の献血目標(人)(200ml/400ml成分 献血含む。)	18目標	3430	最終目標		
			18実績	2297	19目標	3000	↑ 最終目標 達成年度
			23目標	3000	23実績		
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑ 最終目標 達成年度	
23目標				23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>・自主的活動への報償費支出 ・献血事業推進のための広報費用 献血推進事業費*平成18年度をもって事業を終了する。</p> <p>この事業は、献血活動を推進するため、市の組織であった飯田市献血推進協議会を平成14年度をもって解散したが、一部地区において献血推進のための組織を継続して献血を行っており、市の支援として、当該地区に献血者への粗品にあたる程度の推進に使用する物品購入に充てるため報償費として1地区3万円を2地区へ支出してきた。各企業においても献血事業は積極的に実施しており、2地区のみ報償費的な支出する当該事業を終了することとした。献血の必要性は継続しているため、報償費的支出は終了するが、一般事務の中で献血推進は引き続き行う。</p>	<p>自発的に献血事業をした行った地区数(地区)</p> <p>当該事業は18年度をもって終了</p>	地区	2

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	60	0
事業費計(A)		60	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 4	19年度
	臨時職員等所要時間	2	
	人件費計(B)	16	0
	トータルコストA+B	76	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
	献血要請については、飯伊に目標が定められ血液センターが目標にあった計画を策定し、市町村及び企業、団体に要請している。ほぼ飯伊地区は目標を達成している。すそ野的に全地区に補助金を交付して推進を計ってきたが、平成14年度をもって市の献血推進協議会を解散し、当該事業の一部を日赤奉仕団へ依頼してきた経過がある。また、各地区にあった献血推進協議会も解散した所と解散せず自主活動を続けてきた所があり、松尾地区と下久堅知久が平成18年度も引き続き活動をしている。ボランティアの要素が高い献血にあっては、推進は保健課が中心となり今後も進めるが、報償費的な2地区への支出は廃止とするよう調整してきた。	企業も積極的に献血事業に携わっていただいているので公平性に欠ける面がある。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響なし (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ない (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当でない (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 献血事業については、自発的に実施継続する地区は従前どおり協力をお願いします。ただし、報償費的に2地区(松尾・下久堅)への支出(1地区3万円)は廃止する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	献血事業で血液の供給を必要とする病院は、市立病院をはじめ飯田市には数多くあることから、血液センターの献血には従前どおり協力をして行く。(地区の献血目標がある。)今まで報償費的に支出していた2地区については、事業を廃止するのでなく、報償費的な部分が終了するが引き続き協力いただけるよう依頼をして行く。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	